

**ふくまちエリアにおける  
これまでの取組の成果と課題について  
(意見交換)**

福山駅周辺の再生は、「産業・雇用」「社会環境」「空間」「交通」「地域づくり・人づくり」「情報発信」の視点から、めざす20年後の姿を共有し、**官民が連携**して取組を進めてきました。



# 柱1：福山の伝統と柔軟なアイデアが会うビジネスの拠点づくり

## エフピコRiMリノベーション再生事業 (iti SETOUCHI)

Before



After



2022年9月 オープン

## 取組のポイントと成果

- 2022年9月のオープンから2024年3月末まで、461件のイベントを開催し、延べ101,999人を集客した
- 異業種交流を求める企業が移転
- 施設内にパブリックスペースを設け、人と人がつながりを持ち、居心地が良く滞在できる空間となった
- 市民に開かれた施設で、利用者と地域をつなぐ、まちとの連続性を重視した拠点となった

## 三之丸町地区優良建築物等整備事業 (NEW CASPA)

Before



After



2024年3月 竣工  
2024年9月 グランドオープン

- グローバル企業が福山や備後圏域の産業・素材とコラボレーションした製品を開発
- 地域の文化やものづくりを体験できるツアー企画の展開
- 低層階が周辺地域とのつながりを取り込む商業施設となり、歩道や駅前広場とシームレスにつながっている
- 歩いて楽しい空間づくりの観点から、敷地内に24時間通行できる公共用道路を整備するなど回遊性を高めている

## 柱2：新しいライフスタイルの実現

### 中央公園Park-PFI事業

Before



After



中四国地方初導入  
2021年5月 オープン

### 取組のポイントと成果

- 子どもから大人までが学び、活動する場として、日常を楽しみながら、暮らしをアップデートできる場となっている
- 図書館と公園の相乗効果が生み出す居心地の良さにより、エリア価値が向上している
- 定例イベントの開催によって、にぎわいを創出している

### 国家戦略特区制度（アイネスフクヤマ東側歩道）

Before



After



ウッドデッキの完成  
2022年2月

- ウッドデッキや木のベンチ・オープンカフェを設置することで、人が集まる憩いの場が生まれた
- 市民のアイデアを自由に表現でき、多様なアクティビティが誘発される空間となり、にぎわいの感じられる道路空間になる

### その他の取組

- 歩行者利便増進道路制度（ほこみち）
- 高架下リニューアル

## 柱3：福山城などを活用したにぎわいの創出

### 福山城のリニューアル

Before



After



2022年8月 リニューアル

### 取組のポイントと成果

- 築城400年記念事業関連イベントの参加・来場者は、全180事業で約75万人、市内における経済波及効果は、約98億円となった
- 福山城が、将来にわたり福山市のシンボルとして、まちづくりの拠点となった
- 福山城の魅力向上により、多くの人が活用するにぎわい創出の場となっている

### 福山駅北口スクエア整備事業

Before



After



2022年7月 完成

- 福山城周辺エリアの玄関口として整備することで、にぎわい創出、回遊性の向上、駅周辺を訪れる人の憩いの場となっている
- 車道と広場との段差を解消することで、イベント時などでも利用しやすい空間となった

### その他の取組

- 福山城を核としたナイトタイムエコノミー基本方針策定
- 城泊（キャッスルステイ）

## 福山駅前送迎バス乗降場整備事業



2022年4月 供用開始  
(伏見町北側)



2022年4月 供用開始  
(アイネス前)

## 取組のポイントと成果

- 駅北口の送迎バス乗降場において、バスや送迎車などの交通が輻輳し、車両の通行に支障が生じていたが、駅南側に移設することで解消を図った

## 福山駅前広場再編事業



2022年11月 実証実験実施  
(タクシー待機場を芝生広場に)



2022年11月 実証実験実施  
(タクシー乗降場を西送迎場に配置)

- 交通結節機能を適切に配置し、機能の検証を行った
- 人が集い・憩い・語らいの中心となる広場空間を創出した
- 実験を重ね、多様な意見を聞きながら検討を進めていく

## 都市再生推進法人の設立



株式会社築切家守舎による  
リノベーション事業の推進



福Lab株式会社による  
商店街とのイベント企画

## 取組のポイントと成果

- 2社の都市再生推進法人が設立した
- 築切家守舎は、ウォークブルエリア内の建物をリノベーションして、魅力あるテナントを誘致するなど、人が集まるエリアの再生に取り組んでいる
- 福Labは、商店街エリアにおいてイベントを開催するなど商店街の活性化を図り、市民へのまちづくりに対する興味や関心を向上させている

## 福山駅前アクション会議、エリア価値創造フォーラム・ゼミ



福山駅前アクション会議の様子



エリア価値創造フォーラムの様子

- 福山駅前アクション会議は、2019年から2021年に開催し、これまで10回、延べ497人が参加した
- 駅周辺と周辺地域の人や産業をつなぎ、地域内で資金を循環させる仕組みづくりなどの具体的な取組が生まれている
- エリア価値創造フォーラムは、2022年から開催し、これまで8回、延べ702人が参加した
- 官民それぞれの不動産オーナー等を対象に、まちの将来のビジョンを共有し、新たなまちづくり手法を学ぶことで、エリア価値を高める人材育成につなげている

## その他の取組

- エリアプロデュース&マネジメント講座
- リノベーションスクール

## SNSを活用した駅周辺の取組の発信



インスタグラム



## 福山駅前再生 Project

1,102 フォロワー ・ 12 フォロー中



フェイスブック

## 取組のポイントと成果

- 投稿頻度を上げることでフォロワーを増加させた
- 駅周辺の取組・イベント情報などを周知し、集客の増加やまちに対する誇り・愛着の醸成を図っている
- まちの印象やイメージに共感したり興味を持ったりした人や企業の流入などにつなげ、エリア価値を高める

## 各会議の公開（福山駅前デザイン会議、福山駅前広場協議会など）



福山駅前デザイン会議の様子



福山駅前広場協議会の様子

- 駅周辺に対する周知やまちづくりに対する興味・関心を高めるため、会議や議論を公開で行っている
- 市ホームページにも議論の経過を公開している

## 1日当たりの流動客数

伏見町※ 9:00~19:00



2017年度

平日 841人

休日 881人



2022年度

平日 1,081人 約**1.2倍**

休日 1,267人 約**1.4倍**

## 地価公示価格

(ウォークブルエリア内)

※商業地の5地点



2016年から2024年までの9年間で

平均約**20%上昇**

※ウォークブルエリア外の商業地の上昇率は平均約**10%**

## 駅周辺の11の 商店街営業店舗数

(外観目視調査)



2017年度

428店舗



2023年度

467店舗 (**39店舗増**)

## 福山城公園 夜間来訪者

※18時~翌6時

(お出かけウォッチャー調査)



2019年

3.3万人



2023年

7.4万人 約**2.2倍**

# ふくまちエリアにおける官民連携の取組

1



三之丸町地区優建事業

2



エピコRiMの再生

3



道路空間の活用

4



中央公園Park-PFI



5



福山城のリニューアル

6



福山駅北口スクエア整備

7



リノベーションまちづくり

8



福山駅前広場再編事業

9

### ■第19回（2024年7月19日）

- これまでの成果と今後の取組に向けた視点、方向性などについて意見交換



### ■第20回（2024年10月18日）

- 第19回での意見を踏まえて、福山駅周辺デザイン計画見直しに向けた骨子を提示し、意見交換



### ■第21回（2025年2月18日）

- 第20回での意見を踏まえて、福山駅周辺デザイン計画の見直し案を提示し、意見交換



### ■2025年3月 福山駅周辺デザイン計画の更新